



政府統計

# 鉱山保安統計年報

〔 確 報 〕

平成28年

経済産業省商務流通保安グループ



# 説 明

1. 鉱山保安統計年報は、鉱山保安統計月報の1月号から12月号を集計したものである。

2. 図表及び災害統計に用いた符号は、次のとおりである。

「0」 鉱山災害による死傷者がいないもの。

「0.00」 小数点第3位において四捨五入しても小数点第2位に満たないもの。

「 」 該当のないもの。

3. 鉱山保安統計年報の見方

(1) 鉱山労働者数は、月末現在の在籍者数を年間で平均した数値である。なお、月別については各月末現在の在籍者数である。

(2) 稼働延人員とは、各鉱山の鉱山労働者が実際に働いた稼働者数を累計したものをいい、1年間の場合は年稼働延人員、1ヶ月間の場合は月稼働延人員という。

(3) 稼働延時間とは、各鉱山の鉱山労働者が実際に働いた稼働時間を累計したものをいい、1年間の場合は年稼働延時間、1ヶ月間の場合は月稼働延時間という。

(4) り災者（死傷者）とは、鉱山災害のため、業務上死傷したものをいい、業務上の疾病は含んでいない。

(5) 死亡者とは、鉱山災害のため死亡した者をいう。

(6) 重傷者とは、症状の重い者（4週間以上休業）又は2週間以上4週間未満休業の者をいう。

(7) 軽傷者とは、3日以上2週間未満休業の者をいう。

(8) 損失日数とは、実際に休業した日数を損失日数として計上するものとし、本統計年報集計時において治癒となっていない場合は医師の診断による休業日数を計上している。また、死亡は7,500日とし、医師の診断による永久完全労働不能者又は永久一部労働不能者に対しては身体障害等級に該当する損失日数を計上している。

(9) 災害率とは、鉱山災害による災害の回数、り災者数によって災害の発生頻度を表すもので、稼働延100万人当たりの災害率と稼働延100万時間当たりの災害率を算出している。

その算出方法は

$$\text{災害率} = \frac{\text{災害の回数、り災者数}}{\text{稼働延人員}} \times 100 \text{万人}$$

$$\text{災害率} = \frac{\text{災害の回数、り災者数}}{\text{稼働延時間}} \times 100 \text{万時間}$$

(10) 強度率とは、鉱山災害による労働日数の損失によって災害の重軽度を表すもので、稼働延1,000時間当たりの強度率を算出している。

その算出方法は

$$\text{強度率} = \frac{\text{損失日数}}{\text{稼働延時間}} \times 1,000 \text{時間}$$

# 目 次

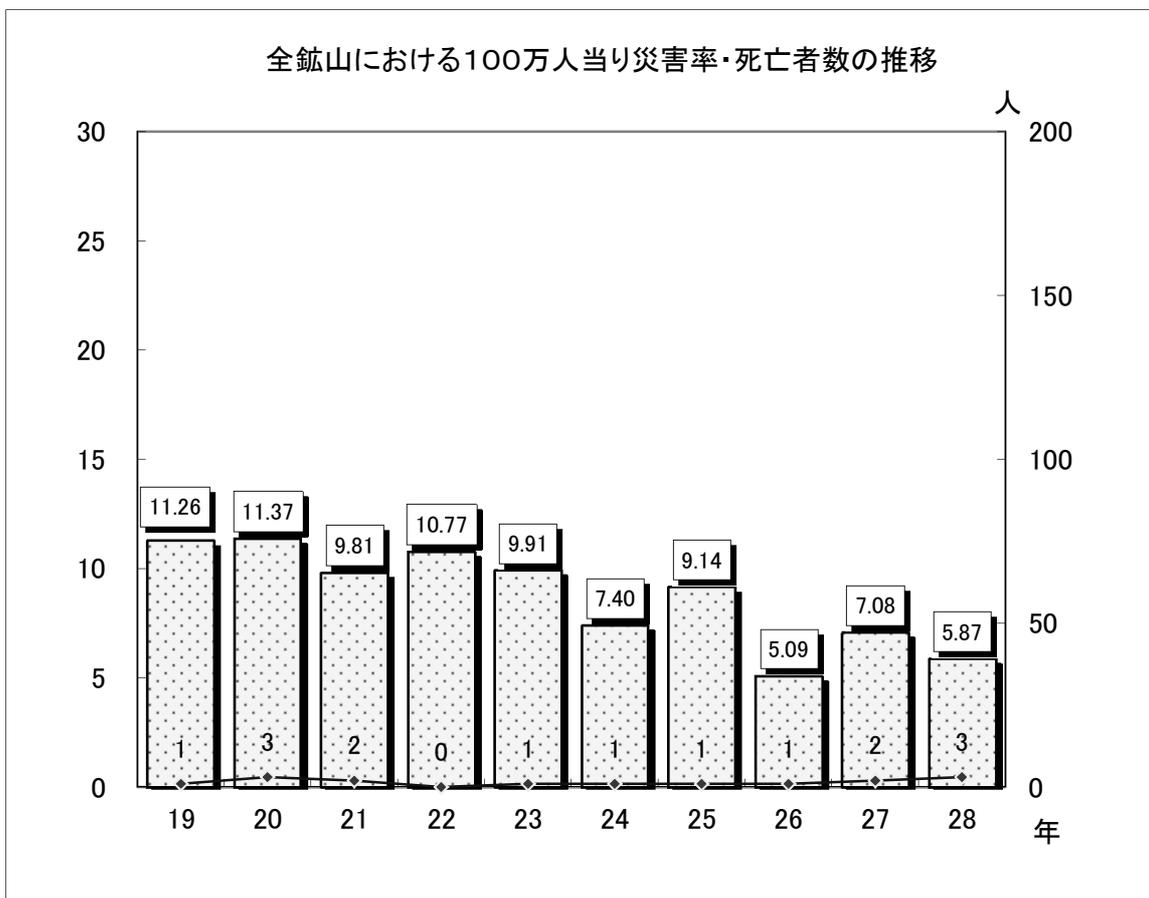
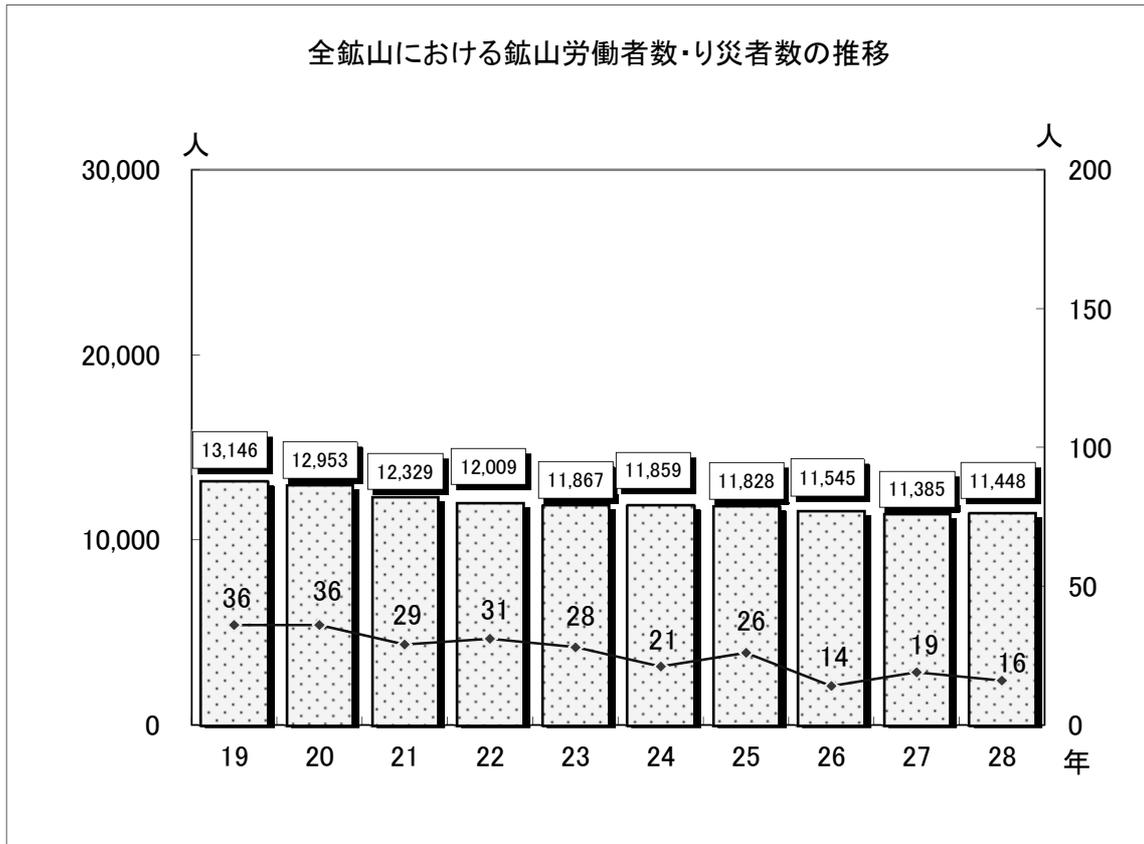
## 図 表

第1図	全鉱山における災害の推移	1
第2図	全鉱山における強度率の推移	2
第3図	石炭鉱山における災害の推移	3
第4図	亜炭鉱山における災害の推移	4
第5図	金属・非金属鉱山における災害の推移	5
第6図	石灰石鉱山における災害の推移	6
第7図	石油鉱山における災害の推移	7

## 災害統計

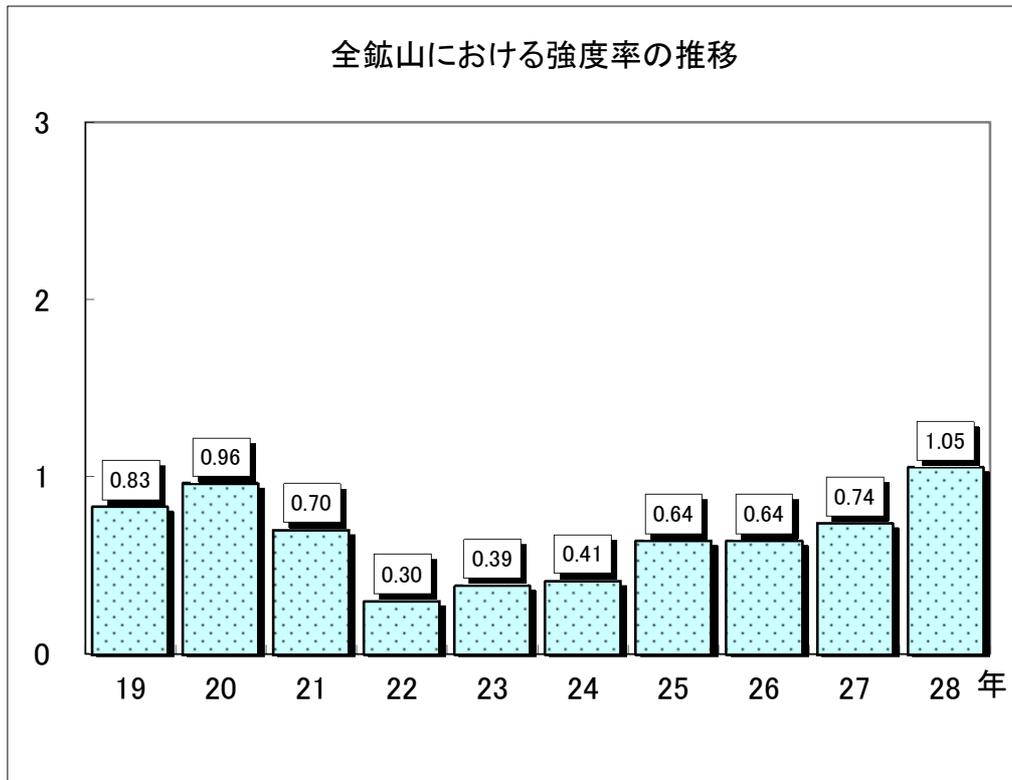
第1表	平成28年全鉱山部門別災害調	8
第2表	平成28年全鉱山月別災害調	12
第3表	平成28年石炭鉱山月別災害調	14
第4表	平成28年石炭鉱山監督部別災害調	16
第5表	平成28年石炭鉱山事由別災害調	17
第6表	平成28年亜炭鉱山月別災害調	18
第7表	平成28年亜炭鉱山監督部別災害調	20
第8表	平成28年亜炭鉱山事由別災害調	21
第9表	平成28年金属非金属鉱山月別災害調	22
第10表	平成28年金属非金属鉱山監督部別災害調	24
第11表	平成28年金属非金属鉱山事由別災害調	25
第12表	平成28年金属鉱山月別災害調	26
第13表	平成28年金属鉱山監督部別災害調	28
第14表	平成28年金属鉱山事由別災害調	29
第15表	平成28年非金属鉱山月別災害調	30
第16表	平成28年非金属鉱山監督部別災害調	32
第17表	平成28年非金属鉱山事由別災害調	33
第18表	平成28年石灰石鉱山月別災害調	34
第19表	平成28年石灰石鉱山監督部別災害調	36
第20表	平成28年石灰石鉱山事由別災害調	37
第21表	平成28年石油鉱山月別災害調	38
第22表	平成28年石油鉱山監督部別災害調	40
第23表	平成28年石油鉱山事由別災害調	41

第1図

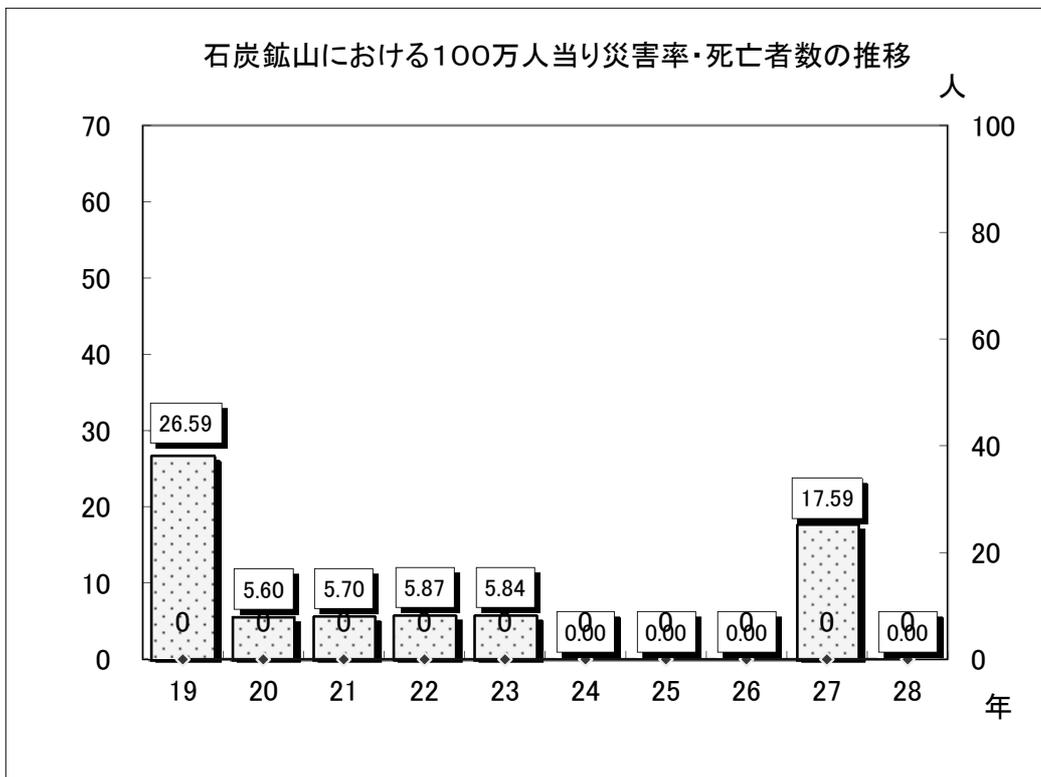
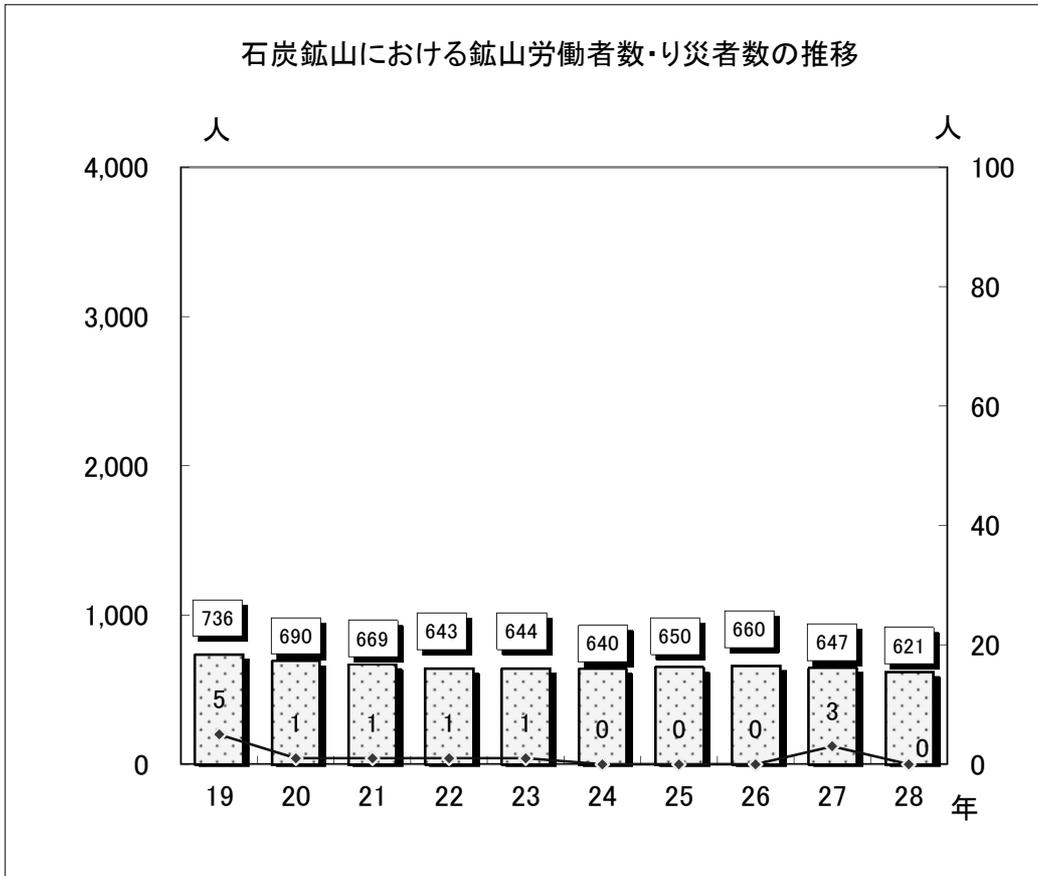


(注) 各図上段: 棒グラフ—鉱山労働者数  
折れ線グラフ—り災者数  
下段: 棒グラフ—稼働延100万人当り災害率  
折れ線グラフ—死亡者数

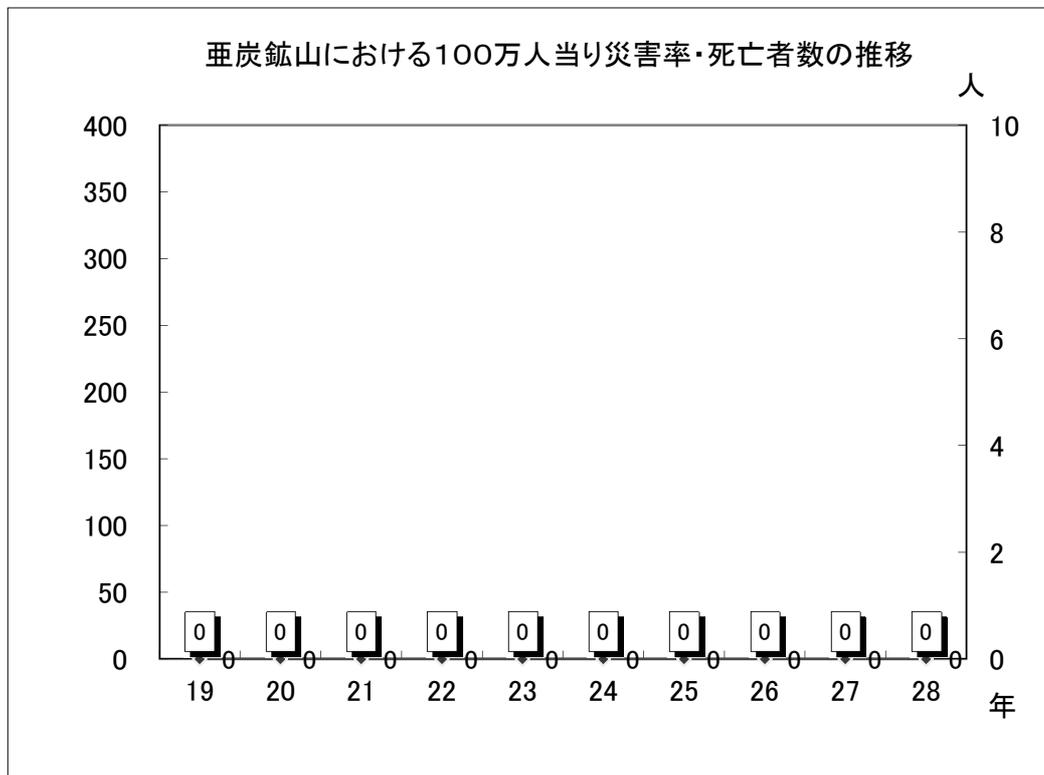
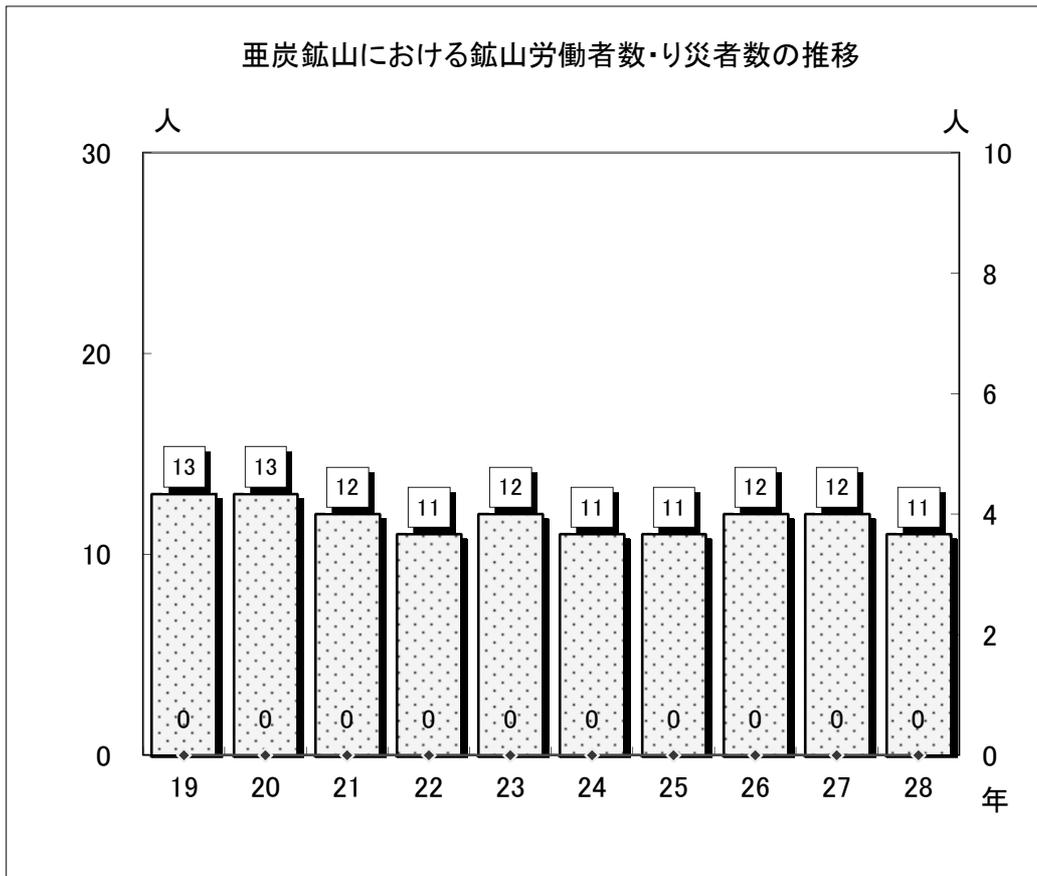
第2図



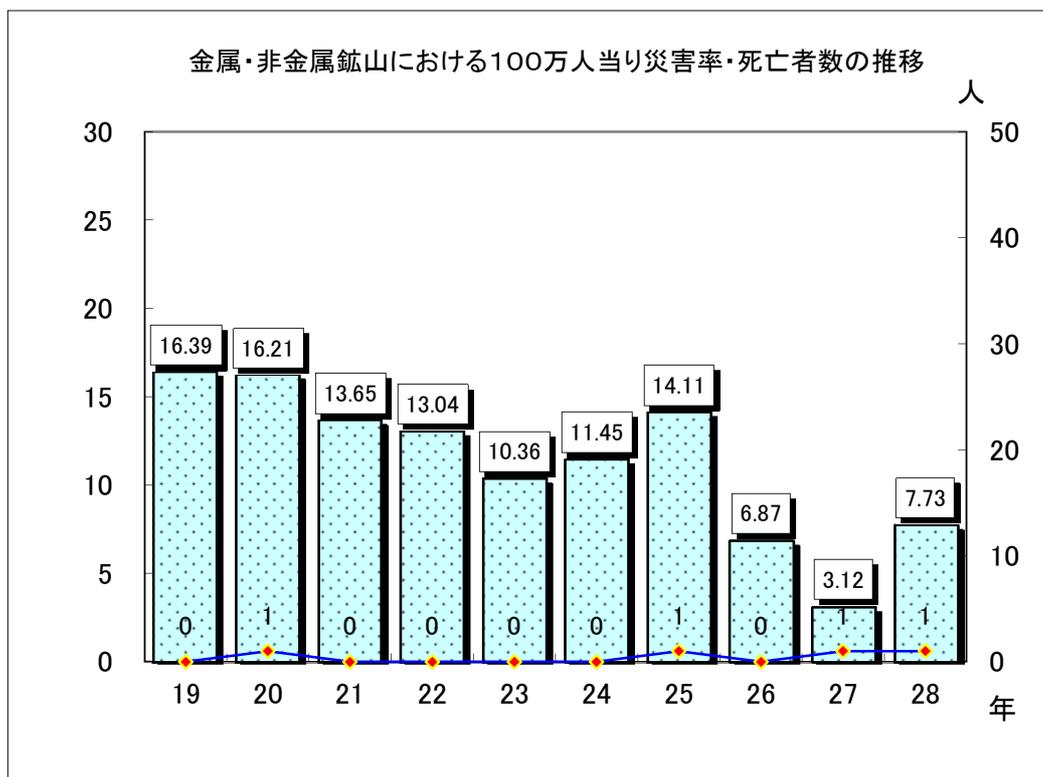
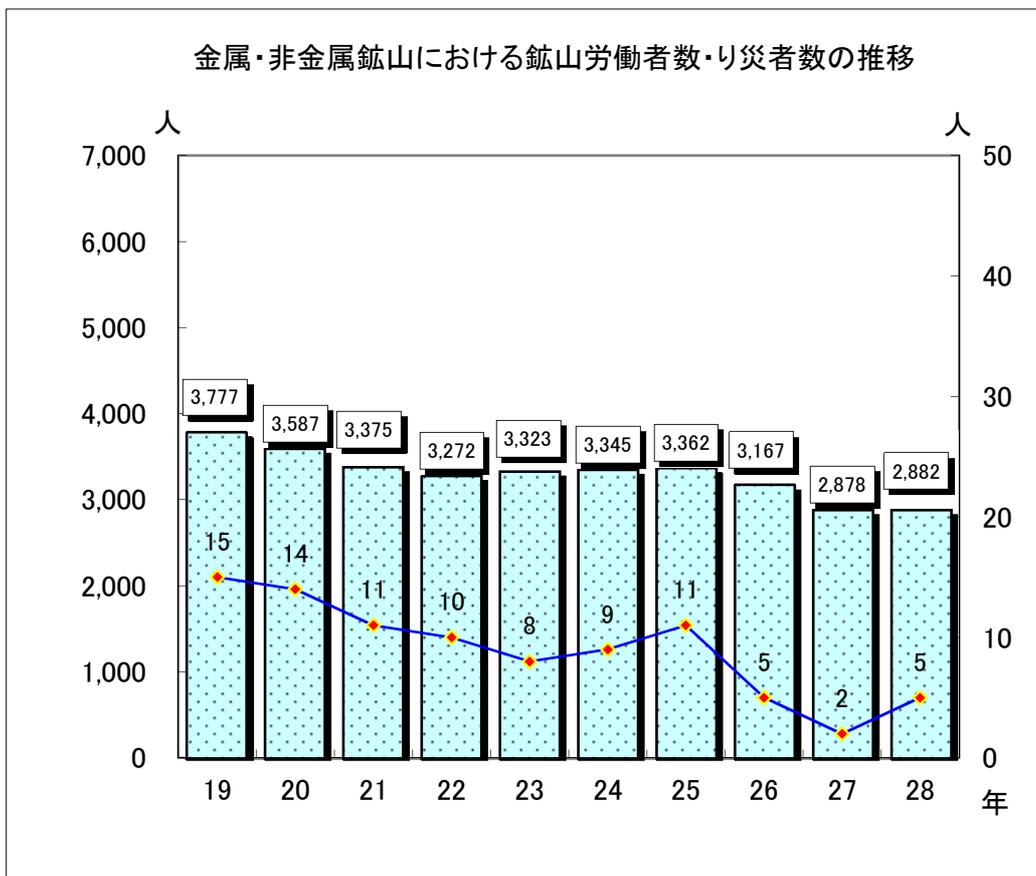
第3図



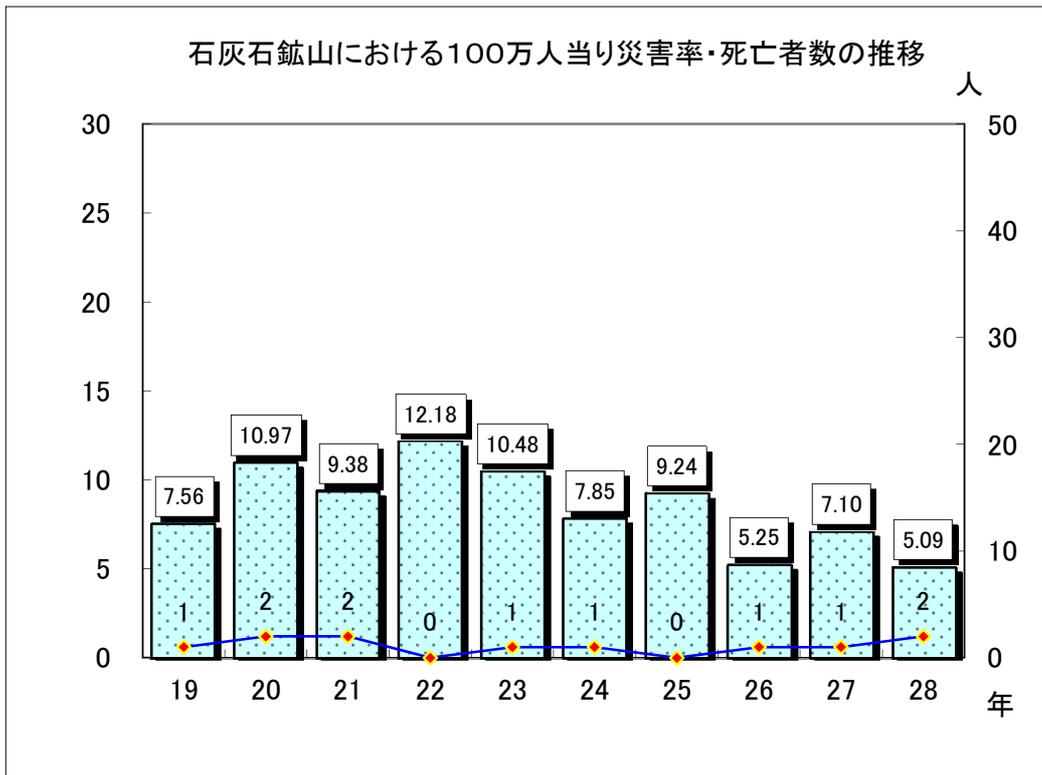
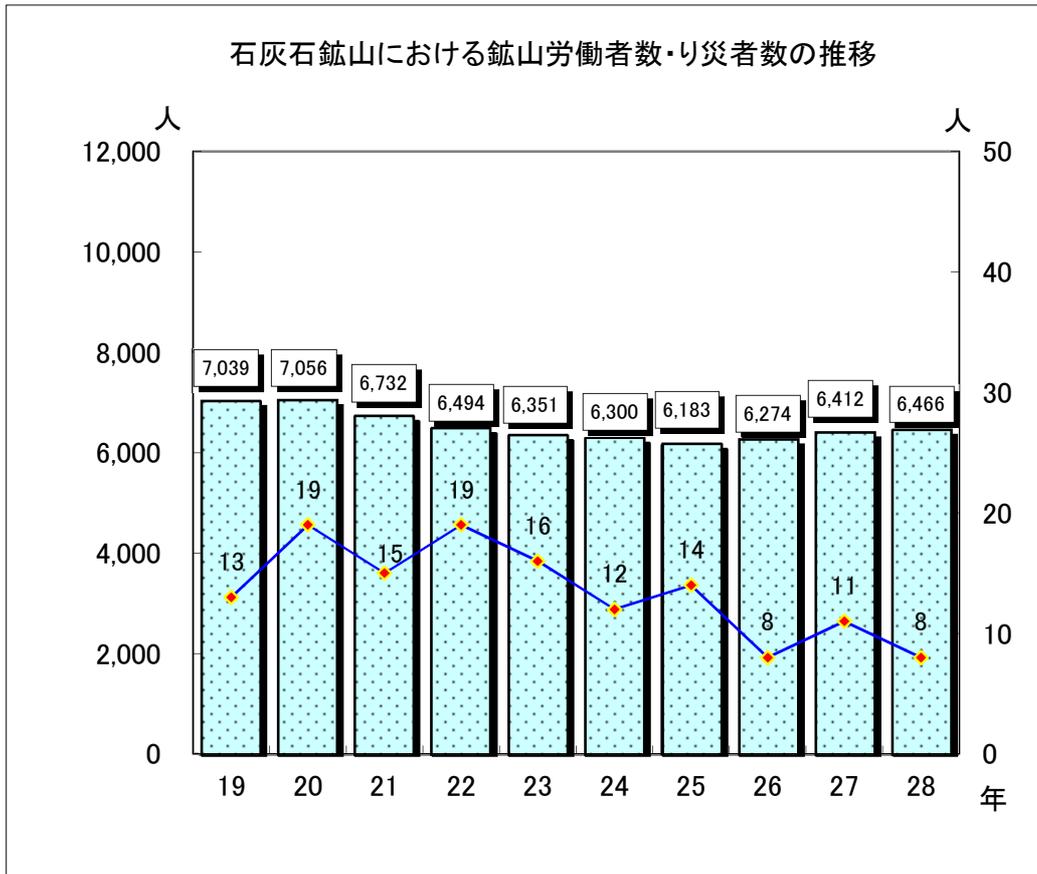
第4図



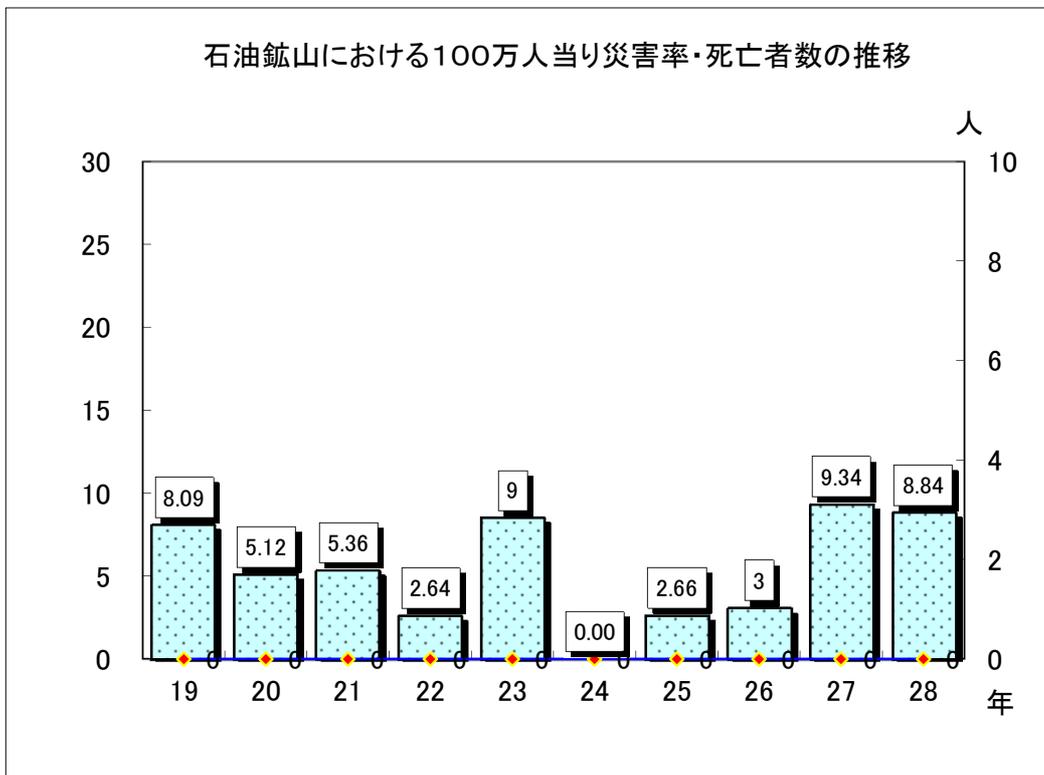
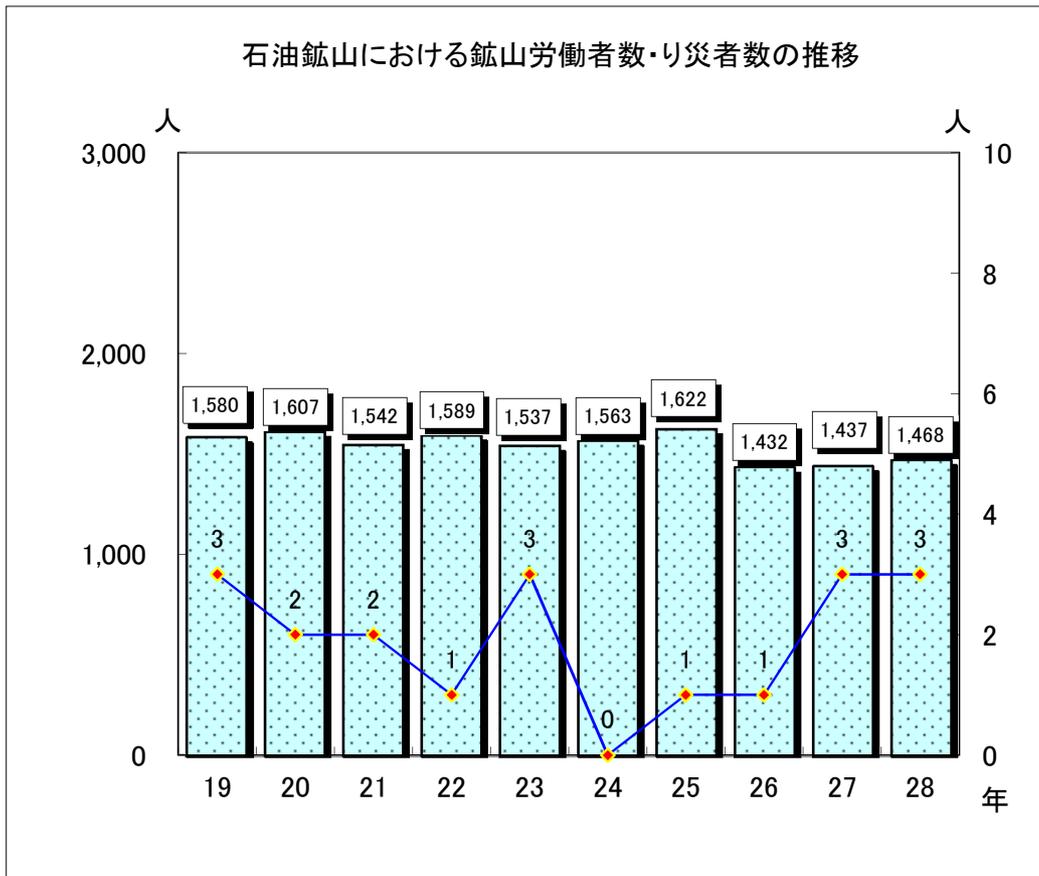
第5図



第6図



第7図



第1表 平成28年全鉱山部門別災害調

部 門 別	稼 行 鉱山数	鉱 山 労 働 者 数			稼 坑内
		坑内	坑外	計	
全鉱山	518	719	10,729	11,448	166,821
石炭鉱山	13	274	347	621	73,509
亜炭鉱山	3	2	9	11	408
金属非金属鉱山	196	191	2,690	2,881	40,182
金属鉱山	53	162	1,290	1,452	33,343
非金属鉱山	143	29	1,400	1,429	6,839
石灰石鉱山	244	252	6,215	6,467	52,722
石油鉱山	62		1,468	1,468	

部 門 別	坑 内 災 害					坑 外 災 害				
	回数	死亡	重 傷		軽傷	計	回数	死亡	重 傷	
			4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満
全鉱山							20	3	9	1
石炭鉱山										
亜炭鉱山										
金属非金属鉱山							5	1	4	
金属鉱山							1		1	
非金属鉱山							4	1	3	
石灰石鉱山							13	2	3	
石油鉱山							2		2	1

働 延 人 員		稼 働 延 時 間		
坑外	計	坑内	坑外	計
2,559,648	2,726,469	1,375,397	20,785,796	22,161,193
92,579	166,088	646,135	793,891	1,440,026
1,465	1,873	3,264	11,383	14,647
606,381	646,563	313,998	5,248,619	5,562,617
279,579	312,922	260,530	2,687,635	2,948,165
326,802	333,641	53,468	2,560,984	2,614,452
1,519,714	1,572,436	412,000	12,098,074	12,510,074
339,509	339,509		2,633,830	2,633,830

害		坑 内 外 災 害					損 失 日 数			
軽傷	計	回数	死亡	重 傷		軽傷	計	坑内	坑外	計
				4週以上	2週以上 4週未満					
3	16	20	3	9	1	3	16		23,293	23,293
	5	5	1	4			5		7,753	7,753
	1	1		1			1		48	48
	4	4	1	3			4		7,705	7,705
3	8	13	2	3		3	8		15,414	15,414
	3	2		2	1		3		126	126

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

部 門 別	稼 働 延 1 0							
	坑 内 災 害					坑		
	回数	死亡	重 傷		軽 傷	計	回数	死亡
4週以上			2週以上 4週未満					
全鉱山							7.81	1.17
石炭鉱山								
亜炭鉱山								
金属非金属鉱山							8.25	1.65
金属鉱山							3.58	
非金属鉱山							12.24	3.06
石灰石鉱山							8.55	1.32
石油鉱山							5.89	

部 門 別	稼 働 延 1 0 0							
	坑 内 災 害					坑		
	回数	死亡	重 傷		軽 傷	計	回数	死亡
4週以上			2週以上 4週未満					
全鉱山							0.96	0.14
石炭鉱山								
亜炭鉱山								
金属非金属鉱山							0.95	0.19
金属鉱山							0.37	
非金属鉱山							1.56	0.39
石灰石鉱山							1.07	0.17
石油鉱山							0.76	

部 門 別	強 度 率		
	坑内	坑外	計
全鉱山		1.12	1.05
石炭鉱山			
亜炭鉱山			
金属非金属鉱山		1.48	1.39
金属鉱山		0.02	0.02
非金属鉱山		3.01	2.95
石灰石鉱山		1.27	1.23
石油鉱山		0.05	0.05

0 万人 当 たり 災 害 率									
外 災 害				坑 内 外 災 害					
重 傷		軽 傷	計	回数	死亡	重 傷		軽 傷	計
4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満		
3.52	0.39	1.17	6.25	7.34	1.10	3.30	0.37	1.10	5.87
6.60			8.25	7.73	1.55	6.19			7.73
3.58			3.58	3.20		3.20			3.20
9.18			12.24	11.99	3.00	8.99			11.99
1.97		1.97	5.26	8.27	1.27	1.91		1.91	5.09
5.89	2.95		8.84	5.89		5.89	2.95		8.84

万 時 間 当 たり 災 害 率									
外 災 害				坑 内 外 災 害					
重 傷		軽 傷	計	回数	死亡	重 傷		軽 傷	計
4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満		
0.43	0.05	0.14	0.77	0.90	0.14	0.41	0.05	0.14	0.72
0.76			0.95	0.90	0.18	0.72			0.90
0.37			0.37	0.34		0.34			0.34
1.17			1.56	1.53	0.38	1.15			1.53
0.25		0.25	0.66	1.04	0.16	0.24		0.24	0.64
0.76	0.38		1.14	0.76		0.76	0.38		1.14

第2表 平成28年全鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
26年	511	11,545	2,751,637	21,903,827
27年	517	11,385	2,685,480	21,543,336
28年	518	11,448	2,726,469	22,161,193
1月	515	11,217	212,121	1,686,692
2月	514	11,363	224,317	1,801,814
3月	516	11,252	231,182	1,861,214
4月	515	11,477	230,658	1,859,408
5月	518	11,812	220,963	1,795,547
6月	518	11,811	241,690	1,967,595
7月	519	11,494	232,901	1,899,627
8月	519	11,428	224,837	1,837,916
9月	520	11,454	226,489	1,842,979
10月	520	11,381	229,747	1,922,197
11月	519	11,426	228,739	1,868,159
12月	518	11,261	222,825	1,818,044

年月別	稼働延100万人当たり災害率						回数
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	
			4週以上	2週以上 4週未満			
26年	10.54	0.36	2.18	1.09	1.45	5.09	1.32
27年	10.05	0.74	2.98	1.49	1.49	7.08	1.25
28年	7.34	1.10	2.57	0.37	1.10	5.87	0.90
1月							
2月	4.46	4.46				4.46	0.55
3月	8.65		4.33		4.33	8.65	1.07
4月	17.34	4.34	13.01		4.34	21.68	2.15
5月	9.05		4.53			4.53	1.11
6月	4.14						0.51
7月	4.29			4.29		4.29	0.53
8月	8.90				4.45	4.45	1.09
9月	4.42						0.54
10月							
11月	8.74	4.37	4.37			8.74	1.07
12月	17.95		13.46			13.46	2.20

回数	り 災 者 数					損失 日数
	死亡	重傷		軽傷	計	
		4週以上	2週以上 4週未満			
29	1	6	3	4	14	14,004
27	2	8	4	4	19	15,906
20	3	7	1	3	16	23,293
1	1				1	7,500
2		1		1	2	187
4	1	3		1	5	7,664
2		1			1	90
1						
1			1		1	17
2				1	1	10
1						
2	1	1			2	7,554
4		3			3	271

労働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
0.05	0.27	0.14	0.18	0.64	0.64
0.09	0.37	0.19	0.19	0.88	0.74
0.14	0.32	0.05	0.14	0.72	1.05
0.55				0.55	4.16
	0.54		0.54	1.07	0.10
0.54	1.61		0.54	2.69	4.12
	0.56			0.56	0.05
		0.53		0.53	0.01
			0.54	0.54	0.01
0.54	0.54			1.07	4.04
	1.65			1.65	0.15

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

第3表 平成28年石炭鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
26年	10	660	172,733	1,487,063
27年	12	647	170,575	1,481,205
28年	13	621	166,088	1,440,026
1月	12	651	13,401	116,306
2月	12	645	14,279	124,724
3月	12	641	14,871	129,880
4月	12	634	14,331	125,141
5月	12	626	13,375	115,994
6月	12	627	14,323	124,030
7月	12	624	13,788	119,291
8月	12	607	13,472	115,748
9月	12	616	13,960	120,391
10月	12	592	13,840	119,391
11月	13	597	13,254	114,907
12月	13	592	13,194	114,223

年月別	稼働延100万人当たり災害率					回数	
	回数	死亡	重傷		軽傷		計
			4週以上	2週以上 4週未満			
26年							
27年	17.59		11.73	5.86		17.59	
28年							
1月							
2月							
3月							
4月							
5月							
6月							
7月							
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							



第4表 平成28年石炭鉱山監督部別災害調

監督部別	稼行 鉱山数	月報 提出 鉱山数	鉱山 労働者数	稼働 延人員	稼働 延時間	回数	罹災者数				損 日数	
							死亡	重傷		軽傷		
								4週以上	2週以上 4週未満			
北海道	13.00	12	621	166,088	1,440,026							
東北												
関東												
中部												
近畿												
中国												
四国												
九州												
那覇												
計	13.00	12	621	166,088	1,440,026							

監督部別	稼働延100万人当たり災害率						稼働延100万時間当たり災害率						
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	回数	死亡	重傷		軽傷	計	
			4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満			
北海道													
東北													
関東													
中部													
近畿													
中国													
四国													
九州													
那覇													
計													

	月末労働者数			稼働延人員			稼働延時間		
	直轄	請負	計	直轄	請負	計	直轄	請負	計
坑内	240	34	274	66,370	7,139	73,509	581,884	64,251	646,135
坑外	169	177	346	45,840	46,739	92,579	371,274	422,617	793,891
計	409	211	620	112,210	53,878	166,088	953,158	486,868	1,440,026

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違つ場合があります。

第5表 平成28年石炭鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷			合計	損失日数
				重傷		軽傷		
				4週以上	2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下（前項以外）							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため							
	立坑巻揚装置のため	チェン又はロープの切断						
		その他の						
	前項以外の運搬装置のため	チェン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	その他の							
	出水							
	火災							
	機械のため							
	電気のため							
	飛石又は転石							
	工具のため							
	粉じんのため							
	落下物又は倒壊物のため（罹災者の持っている物以外）							
	取扱中の器材鉱物等のため							
	墜落							
	転倒							
その他の								
計								
坑外	岩盤の崩壊							
	発破又は火薬類のため							
	火災							
	風水害							
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	その他の							
	さく井機械のため							
	機械のため（石油鉱山については前項以外）							
	電気のため							
	ボイラーの破裂							
	しゃく熱溶融物のため							
	劇物のため							
	飛石又は転石							
	工具のため							
	粉じんのため							
	落下物又は倒壊物のため（罹災者の持っている物以外）							
	取扱中の器材鉱物等のため							
墜落								
転倒								
その他の								
計								
総計								

第6表 平成28年亜炭鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
26年	3	12	2,229	17,191
27年	3	12	2,274	17,476
28年	3	11	1,873	14,647
1月	3	11	159	1,214
2月	3	11	208	1,590
3月	3	11	218	1,670
4月	3	13	202	1,552
5月	3	12	150	1,164
6月	3	10	165	1,289
7月	3	11	189	1,512
8月	3	10	110	880
9月	3	10	124	992
10月	3	10	123	984
11月	3	10	118	944
12月	3	8	107	856

年月別	稼働延100万人当たり災害率					回数	
	回数	死亡	重傷		軽傷		計
			4週以上	2週以上 4週未満			
26年							
27年							
28年							
1月							
2月							
3月							
4月							
5月							
6月							
7月							
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							



第7表 平成28年度重炭鉱山監督部別災害調

監督部別	稼行 鉱山数	月報 提出 鉱山数	鉱山 労働者数	稼働 延人員	稼働 延時間	回数	罹災者数				損 日数	
							死亡	重傷		軽傷		
								4週以上	2週以上 4週未満			
北海道												
東北	1	1	1	56	448							
関東	1	1	7	1,336	10,688							
中部	1	1	2	481	3,511							
近畿												
中国												
四国												
九州												
那覇												
計	3	3	10	1,873	14,647							

監督部別	稼働延100万人当たり災害率				稼働延100万時間当たり災害率				強度率
	回数	死亡	重傷		回数	死亡	軽傷		
			4週以上	2週以上 4週未満			4週以上	2週以上 4週未満	
北海道									
東北									
関東									
中部									
近畿									
中国									
四国									
九州									
那覇									
計									

	月末労働者数			稼働延人員			稼働延時間		
	直轄	請負	計	直轄	請負	計	直轄	請負	計
坑内	2		2	408		408	3,264		3,264
坑外	8	1	9	1,240	225	1,465	9,740	1,643	11,383
計	10	1	11	1,648	225	1,873	13,004	1,643	14,647

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違つ場合があります。

第8表 平成28年亜炭鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷			合計	損失日数
				重傷		軽傷		
				4週以上	2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下（前項以外）							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため							
	立坑巻揚装置のため	チェン又はロープの切断						
		その他の						
	前項以外の運搬装置のため	チェン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	その他の							
	出水							
	火災							
	機械のため							
	電気のため							
	飛石又は転石							
	工具のため							
	粉じんのため							
	落下物又は倒壊物のため（罹災者の持っている物以外）							
	取扱中の器材鉱物等のため							
	墜落							
転倒								
その他の								
計								
坑外	岩盤の崩壊							
	発破又は火薬類のため							
	火災							
	風水害							
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	その他の							
	さく井機械のため							
	機械のため（石油鉱山については前項以外）							
	電気のため							
	ボイラーの破裂							
	しゃく熱溶融物のため							
	劇物のため							
	飛石又は転石							
	工具のため							
	粉じんのため							
	落下物又は倒壊物のため（罹災者の持っている物以外）							
	取扱中の器材鉱物等のため							
墜落								
転倒								
その他の								
計								
総計								

第9表 平成28年金属非金属鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
26年	197	3,167	728,044	5,735,018
27年	197	2,878	641,560	5,252,902
28年	196	2,882	646,563	5,562,617
1月	196	2,831	49,275	411,258
2月	196	2,859	53,394	446,436
3月	196	2,895	56,207	470,981
4月	196	2,876	54,230	458,041
5月	197	2,908	50,736	433,168
6月	197	2,899	57,144	487,449
7月	198	2,907	55,013	473,608
8月	198	2,889	52,909	460,765
9月	198	2,860	53,784	470,844
10月	198	2,883	55,237	486,488
11月	197	2,908	55,454	489,422
12月	196	2,867	53,180	474,157

年月別	稼働延100万人当たり災害率					回数	
	回数	死亡	重傷		軽傷		計
			4週以上	2週以上 4週未満			
26年	12.36		4.12		2.75	6.87	1.57
27年	4.68	1.56	1.56			3.12	0.57
28年	7.73	1.55	6.19			7.73	0.90
1月							
2月	18.73	18.73				18.73	2.24
3月							
4月	18.44		18.44			18.44	2.18
5月							
6月							
7月							
8月							
9月							
10月							
11月	18.03		18.03			18.03	2.04
12月	37.61		37.61			37.61	4.22

回数	り 災 者 数				損失 日数	
	死亡	重傷		軽傷		計
		4週以上	2週以上 4週未満			
9		3		2	5	5,907
3	1	1			2	7,590
5	1	4			5	7,753
1	1				1	7,500
1		1			1	48
1		1			1	54
2		2			2	151

労働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
	0.52		0.35	0.87	1.03
0.19	0.19			0.38	1.44
0.18	0.72			0.90	1.39
2.24				2.24	16.80
	2.18			2.18	0.10
	2.04			2.04	0.11
	4.22			4.22	0.32

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

第10表 平成28年金属非金属鉱山監督部別災害調

監督部別	稼行 鉱山数	月報 提出 鉱山数	鉱山 労働者数	稼働 延人員	稼働 延時間	回数	罹災者数				損 日数	
							死亡	重傷		軽傷		計
								4週以上	2週以上 4週未満			
北海道	8	8	41	9,105	68,330							
東北	38	38	343	77,115	1,081,233	2		2				144
関東	28	26	342	82,938	679,560							
中部	47	46	941	220,535	1,722,332	1		1				7,500
近畿	27	27	285	54,258	415,335	1		1				61
中国	21	21	309	64,603	497,555							
四国	6	8	68	15,181	116,643							
九州	20	21	551	122,565	980,658	1		1				48
那覇	1	1	3	263	971							
計	196	196	2,883	646,563	5,562,617	5		4				7,753

監督部別	稼働延100万人当たり災害率						稼働延100万時間当たり災害率						強度率	
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	回数	死亡	重傷		軽傷	計		
			4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満				
北海道														
東北	25.94		25.94			25.94	1.85		1.85			1.85		0.13
関東														
中部	4.53	4.53				4.53	0.58		0.58			0.58		4.35
近畿	18.43		18.43			18.43	2.41		2.41			2.41		0.15
中国														
四国														
九州	8.16		8.16			8.16	1.02		1.02			1.02		0.05
那覇														
計	7.73	1.55	6.19			7.73	0.90	0.18	0.72			0.90		1.39

	月末労働者数				稼働延人員				
	直轄	請負	計	直轄	請負	計	直轄	請負	計
坑内	111	81	192	24,811	15,371	40,182	192,073	121,925	313,998
坑外	2,208	483	2,691	506,781	99,600	606,381	4,113,947	1,134,672	5,248,619
計	2,319	564	2,883	531,592	114,971	646,563	4,306,020	1,256,597	5,562,617

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違つ場合があります。

第11表 平成28年金属非金属鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷		合計	損失日数	
				重傷 4週以上	軽傷 2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下（前項以外）							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため							
	立坑巻揚装置のため	チェーン又はロープの切断						
		その他の						
	前項以外の運搬装置のため	チェーン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
	コンベアのため	チェーン又はロープの切断						
		その他の						
	出水							
	火災							
	機械のため							
	電気のため							
飛石又は転石								
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（罹災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落								
転倒								
その他								
計								
坑外	岩盤の崩壊							
	発破又は火薬類のため							
	火災							
	風水害							
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため	1		1		1	90
		コンベアのため	2	1	1		2	7,554
	その他の							
	さく井機械のため							
	機械のため（石油鉱山については前項以外）							
	電気のため							
	ボイラーの破裂							
	しゃく熱溶融物のため							
	劇物のため							
	飛石又は転石	1		1		1	48	
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（罹災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落	1		1		1	61		
転倒								
その他								
計	5	1	4		5	7,753		
総計	5	1	4		5	7,753		

第12表 平成28年金属鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
26年	52	1,739	394,241	3,106,939
27年	53	1,433	304,958	2,525,789
28年	53	1,453	312,922	2,948,165
1月	52	1,409	23,984	213,088
2月	52	1,439	25,343	226,770
3月	52	1,464	27,047	242,621
4月	52	1,442	25,689	234,420
5月	52	1,465	24,464	228,045
6月	65	1,470	27,786	258,369
7月	53	1,466	26,678	252,475
8月	53	1,460	26,185	251,294
9月	53	1,437	25,982	252,547
10月	53	1,454	26,685	261,577
11月	53	1,471	27,202	267,101
12月	53	1,456	25,877	259,858

年月別	稼働延100万人当たり災害率					回数	
	回数	死亡	重傷		軽傷		計
			4週以上	2週以上 4週未満			
26年	7.61		2.54			2.54	0.97
27年	6.56						0.79
28年	3.20		3.20			3.20	0.34
1月							
2月							
3月							
4月	38.93		38.93			38.93	4.27
5月							
6月							
7月							
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							

回数	り 災 者 数				損失 日数	
	死亡	重傷		軽傷		計
		4週以上	2週以上 4週未満			
3		1			1	309
2						
1		1			1	48
1		1			1	48

労働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
	0.32			0.32	0.10
	0.34			0.34	0.02
	4.27			4.27	0.20

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。



第14表 平成28年金属鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷		合計	損失日数	
				重傷 4週以上	軽傷 2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下（前項以外）							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため							
	立坑巻揚装置のため	チェーン又はロープの切断						
		その他の						
	前項以外の運搬装置のため	チェーン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
	コンベアのため	コンベアのため						
		その他の						
	出水							
	火災							
	機械のため							
	電気のため							
飛石又は転石								
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（罹災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落								
転倒								
その他								
計								
坑外	岩盤の崩壊							
	発破又は火薬類のため							
	火災							
	風水害							
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	さく井機械のため	さく井機械のため						
		機械のため（石油鉱山については前項以外）						
	電気のため							
	ボイラーの破裂							
	しゃく熱溶融物のため							
	劇物のため							
	飛石又は転石	1		1		1	48	
	工具のため							
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（罹災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落								
転倒								
その他								
計	1		1		1	48		
総計	1		1		1	48		

第15表 平成28年非金属鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
26年	145	1,428	333,803	2,628,079
27年	144	1,445	336,602	2,727,113
28年	143	1,429	333,641	2,614,452
1月	144	1,422	25,291	198,170
2月	144	1,420	28,051	219,666
3月	144	1,431	29,160	228,360
4月	144	1,434	28,541	223,621
5月	145	1,443	26,272	205,123
6月	132	1,429	29,358	229,080
7月	145	1,441	28,335	221,133
8月	145	1,429	26,724	209,471
9月	145	1,423	27,802	218,297
10月	145	1,429	28,552	224,911
11月	144	1,437	28,252	222,321
12月	143	1,411	27,303	214,299

年月別	稼働延100万人当たり災害率					回数	
	回数	死亡	重傷		軽傷		計
			4週以上	2週以上 4週未満			
26年	17.97		5.99		5.99	11.98	2.28
27年	2.97	2.97	2.97			5.94	0.37
28年	11.99	3.00	8.99			11.99	1.53
1月							
2月	35.65	35.65				35.65	4.55
3月							
4月							
5月							
6月							
7月							
8月							
9月							
10月							
11月	35.40		35.40			35.40	4.50
12月	73.25		73.25			73.25	9.33

回数	り 災 者 数				損失 日数	
	死亡	重傷		軽傷		計
		4週以上	2週以上 4週未満			
6		2		2	4	5,598
1	1	1			2	7,590
4	1	3			4	7,705
1	1				1	7,500
1		1			1	54
2		2			2	151

労働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
	0.76		0.76	1.52	2.13
0.37	0.37			0.73	2.78
0.38	1.15			1.53	2.95
4.55				4.55	34.14
	4.50			4.50	0.24
	9.33			9.33	0.70

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

第1.6表 平成28年非金属鉱山監督部別災害調

監督部別	稼行 鉱山数	月報 提出 鉱山数	鉱山労働者数	稼働 延人員	稼働 延時間	回数	罹災者数					損失 日数
							死亡	重傷		軽傷	計	
								4週以上	2週以上 4週未満			
北海道	3	3	9	1,589	13,420							
東北	13	13	171	44,014	354,406	2		2			2	144
関東	26	24	338	82,160	673,585							
中部	46	45	322	75,089	562,503	1				1		7,500
近畿	20	20	220	48,814	374,285	1			1		1	61
中国	17	17	198	41,828	327,312							
四国	6	6	51	13,121	103,519							
九州	11	11	118	26,763	204,451							
那覇	1	1	3	263	971							
計	143	140	1,430	333,641	2,614,452	4				3	4	7,705

監督部別	稼働延100万人当たり災害率						稼働延100万時間当たり災害率						強度率	
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	回数	死亡	重傷		軽傷	計		
			4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満				
北海道														
東北	45.44		45.44			45.44			5.64			5.64		0.41
関東														
中部	13.32	13.32				13.32	1.78					1.78		13.33
近畿	20.49		20.49			20.49	2.67					2.67		0.16
中国														
四国														
九州														
那覇														
計	11.99	3.00	8.99			11.99	0.38		1.53			1.53		2.95

	月末労働者数			稼働延人員			稼働延時間		
	直轄	請負	計	直轄	請負	計	直轄	請負	計
坑内	29		29	6,839		6,839	53,468		53,468
坑外	1,204	196	1,400	281,488	45,314	326,802	2,219,411	341,573	2,560,984
計	1,233	196	1,429	288,327	45,314	333,641	2,272,879	341,573	2,614,452

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違つ場合があります。

第17表 平成28年非金属鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷		合計	損失日数	
				重傷 4週以上	軽傷 2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下（前項以外）							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため							
	立坑巻揚装置のため	チェーン又はロープの切断						
		その他の						
	前項以外の運搬装置のため	チェーン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
	コンベアのため	コンベアのため						
		その他の						
	出水							
	火災							
	機械のため							
	電気のため							
飛石又は転石								
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（罹災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落								
転倒								
その他								
計								
坑外	岩盤の崩壊							
	発破又は火薬類のため							
	火災							
	風水害							
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため	1		1		1	90
		コンベアのため	2	1	1		2	7,554
	その他の							
	さく井機械のため							
	機械のため（石油鉱山については前項以外）							
	電気のため							
	ボイラーの破裂							
	しゃく熱溶融物のため							
	劇物のため							
	飛石又は転石							
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（罹災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落	1		1		1	61		
転倒								
その他								
計	4	1	3		4	7,705		
総計	4	1	3		4	7,705		

第18表 平成28年石灰石鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
26年	242	6,274	1,525,194	12,179,245
27年	245	6,412	1,549,913	12,349,898
28年	244	6,466	1,572,436	12,510,074
1月	245	6,386	124,016	969,600
2月	244	6,395	129,809	1,030,650
3月	245	6,229	130,285	1,036,932
4月	244	6,523	133,360	1,057,362
5月	244	6,530	125,715	995,756
6月	244	6,534	135,644	1,071,152
7月	244	6,499	133,231	1,060,246
8月	244	6,490	129,567	1,031,000
9月	244	6,483	131,750	1,040,526
10月	244	6,516	133,220	1,100,999
11月	244	6,528	134,290	1,070,587
12月	244	6,484	131,549	1,045,263

年月別	稼働延100万人当たり災害率						稼 回数
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	
			4週以上	2週以上 4週未満			
26年	11.15	0.66	1.97	1.31	1.31	5.25	1.40
27年	10.97	0.65	3.23	1.29	1.94	7.10	1.38
28年	8.27	1.27	1.91		1.91	5.09	1.04
1月							
2月							
3月	15.35		7.68		7.68	15.35	1.93
4月	15.00	7.50			7.50	15.00	1.89
5月	15.91		7.95			7.95	2.01
6月	7.37						0.93
7月							
8月	15.44				7.72	7.72	1.94
9月	7.59						0.96
10月							
11月	7.45	7.45				7.45	0.93
12月	15.20		7.60			7.60	1.91

回数	り 災 者 数					損失 日数
	死亡	重傷		軽傷	計	
		4週以上	2週以上 4週未満			
17	1	3	2	2	8	8,070
17	1	5	2	3	11	7,882
13	2	3		3	8	15,414
2		1		1	2	187
2	1			1	2	7,507
2		1			1	90
1						
2				1	1	10
1						
1	1				1	7,500
2		1			1	120

労働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
0.08	0.25	0.16	0.16	0.66	0.66
0.08	0.40	0.16	0.24	0.89	0.64
0.16	0.24		0.24	0.64	1.23
	0.96		0.96	1.93	0.18
0.95			0.95	1.89	7.10
	1.00			1.00	0.09
			0.97	0.97	0.01
0.93				0.93	7.01
	0.96			0.96	0.11

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

第19表 平成28年石灰石鉱山監督部別災害調

監督部別	稼行 鉱山数	月報 提出 鉱山数	鉱山労 働者数	稼働 延人員	稼働 延時間	回数	罹災者数				損失 日数	
							死亡	重傷		軽傷		計
								4週以上	2週以上 4週未満			
北海道	14	13	317	80,403	683,713							
東北	22	22	653	160,515	1,266,252							
関東	41	40	1,445	351,230	2,857,106	7	1	1	2	4	7,610	
中部	20	20	769	185,204	1,471,999	2	1			1	7,500	
近畿	6	6	173	34,688	278,019							
中国	33	33	1,113	279,638	2,182,752	1		1		1	174	
四国	11	11	443	104,197	761,806	1			1	1	10	
九州	18	18	982	246,621	1,924,205	1						
那覇	79	79	573	129,940	1,084,222	1	1			1	120	
計	244	242	6,468	1,572,436	12,510,074	13	2	3	3	8	15,414	

監督部別	稼働延100万人当たり災害率						稼働延100万時間当たり災害率						強度率
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	回数	死亡	重傷		軽傷	計	
			4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満			
北海道													
東北													
関東	19.93	2.85	2.85		5.69	11.39	2.45	0.35	0.35	0.70	1.40	2.66	
中部	10.80	5.40				5.40	1.36	0.68			0.68	5.10	
近畿													
中国	3.58		3.58			3.58	0.46		0.46		0.46	0.08	
四国	9.60				9.60	9.60	1.31			1.31	1.31	0.01	
九州	4.05					0.52							
那覇	7.70		7.70			7.70	0.92		0.92		0.92	0.11	
計	8.27	1.27	1.91		1.91	5.09	1.04	0.16	0.24	0.24	0.64	1.23	

	月末労働者数			稼働延人員		
	直轄	請負	計	直轄	請負	計
坑内	115	136	251	28,363	24,359	52,722
坑外	4,169	2,046	6,215	1,016,402	503,312	1,519,714
計	4,284	2,182	6,466	1,044,765	527,671	1,572,436
				8,224,152	4,285,922	12,510,074

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違つ場合があります。

第20表 平成28年石灰石鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷		合計	損失日数	
				重傷				軽傷
				4週以上	2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下(前項以外)							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため							
	立坑巻揚装置のため	チェン又はロープの切断						
		その他の						
	前項以外の運搬装置のため	チェン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
	出火	コンベアのため						
		その他の						
	坑外	水災						
		機械のため						
		電気のため						
飛石又は転石								
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため(罹災者の持っている物以外)								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落								
転倒								
その他の								
計								
坑外	岩盤の崩壊	1		1		1	120	
	発破又は火薬類のため	2						
	火災	1						
	風水害	1						
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため	2	1		1	2	7,513
		コンベアのため	1			1	1	10
	その他	その他の						
		さく井機械のため						
		機械のため(石油鉱山については前項以外)						
		電気のため						
		ボイラーの破裂						
		しゃく熱溶融物のため						
		劇物のため						
		飛石又は転石						
		工具のため						
		粉じんのため						
		落下物又は倒壊物のため(罹災者の持っている物以外)						
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落		4		2	1	3	271	
転倒								
その他の	1	1			1	7,500		
計	13	2	3	3	8	15,414		
総計	13	2	3	3	8	15,414		

第21表 平成28年石油鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
26年	59	1,432	323,437	2,485,310
27年	60	1,437	321,159	2,441,854
28年	62	1,468	339,509	2,633,830
1月	59	1,338	25,270	188,314
2月	59	1,453	26,627	198,415
3月	60	1,476	29,601	221,751
4月	60	1,431	28,535	217,312
5月	62	1,736	30,987	249,465
6月	62	1,741	34,414	283,675
7月	62	1,453	30,680	244,970
8月	62	1,432	28,779	229,523
9月	63	1,485	26,871	210,226
10月	63	1,380	27,327	214,335
11月	62	1,383	25,623	192,299
12月	62	1,310	24,795	183,545

年月別	稼働延100万人当たり災害率					回数	
	回数	死亡	重傷		軽傷		計
			4週以上	2週以上 4週未満			
26年	9.28			3.09		3.09	1.21
27年	12.45			3.11	3.11	9.34	1.64
28年	5.89			2.95		8.84	0.76
1月							
2月							
3月							
4月	35.04		70.09			70.09	4.60
5月							
6月							
7月	32.59			32.59		32.59	4.08
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							

回数	り 災 者 数				損失 日数	
	死亡	重傷		軽傷		計
		4週以上	2週以上 4週未満			
3			1		1	27
4			1	1	3	146
2			1		3	126
1		2			2	109
1			1		1	17

労働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
		0.40		0.40	0.01
		0.41	0.41	1.23	0.06
		0.38		1.14	0.05
	9.20			9.20	0.50
		4.08		4.08	0.07

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

第2.2表 平成28年石油鉱山監督部別災害調

監督部別	稼行 鉱山数	月報 提出 鉱山数	鉱山 労働者数	稼働 延人員	稼働 延時間	回数	罹災者数					損 日数
							死亡	重傷		軽傷	計	
								4週以上	2週以上 4週未満			
北海道	6	6	151	31,981	254,521							
東北	13	13	181	39,410	293,291							
関東	32	32	1,000	236,912	1,788,801	2		2	1		3	126
中部	1	1	24	4,519	53,988							
近畿												
中国			49	16,287	193,364							
四国												
九州	5	5	39	7,425	46,821							
那覇	5	5	24	2,975	3,044							
計	62	62	1,468	339,509	2,633,830	2		2	1		3	126

監督部別	稼働延100万人当たり災害率						稼働延100万時間当たり災害率						強度率	
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	回数	死亡	重傷		軽傷	計		
			4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満				
北海道														
東北														
関東	8.44		8.44	4.22	12.66	1.12		1.12	0.56		1.68	0.07		
中部														
近畿														
中国														
四国														
九州														
那覇														
計	5.89		5.89	2.95	8.84	0.76		0.76	0.38		1.14	0.05		

	月末労働者数			稼働延人員			稼働延時間		
	直轄	請負	計	直轄	請負	計	直轄	請負	計
	坑内								
坑外	1,165	303	1,468	268,292	71,217	339,509	2,028,392	605,438	2,633,830
計	1,165	303	1,468	268,292	71,217	339,509	2,028,392	605,438	2,633,830

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違つ場合があります。

第23表 平成28年石油鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷			合計	損失日数
				重傷		軽傷		
				4週以上	2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下（前項以外）							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため							
	立坑巻揚装置のため	チェン又はロープの切断						
		その他の						
	前項以外の運搬装置のため	チェン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	その他の							
	出水							
	火災							
	機械のため							
	電気のため							
	飛石又は転石							
	工具のため							
	粉じんのため							
落下物又は倒壊物のため（罹災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落								
転倒								
その他の								
計								
坑外	岩盤の崩壊							
	発破又は火薬類のため							
	火災							
	風水害							
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	その他の							
	さく井機械のため							
	機械のため（石油鉱山については前項以外）							
	電気のため							
	ボイラーの破裂							
	しゃく熱溶融物のため							
	劇物のため							
	飛石又は転石							
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（罹災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため	2		2	1	3	126		
墜落								
転倒								
その他の								
計	2		2	1	3	126		
総計	2		2	1	3	126		